

平成 29 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 EPS ホールディングス株式会社  
 代 表 者 代 表 取 締 役 巖 浩  
 (コード番号:4282 東証一部)  
 問 合 せ 取 締 役 上 席 執 行 役 員  
 責 任 者 折 橋 秀 三  
 電 話 番 号 0 3 - 5 6 8 4 - 7 8 7 3

**平成 29 年 9 月 期 第 2 四 半 期 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ**

平成 28 年 11 月 8 日に公表した業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異  
 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属する 当期純利益 百万円	1株当たり当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	28,400	3,200	3,200	1,700	36 87
今回修正予想 (B)	30,397	4,636	4,774	2,555	55 44
増減額 (B - A)	1,997	1,436	1,574	855	—
増減率 (%)	7.0	44.9	49.2	50.3	—
(ご参考)前年同期実績 平成28年9月期第2四半期	25,650	3,794	3,937	2,524	61 06

2. 差異の生じた理由

売上高につきましては、グループ内の全事業において当初計画を超過して順調に推移しており、前回発表の予想数値を上回りました。多くの事業において案件の進捗が堅調に推移しておりますが、特に SMO 事業においてはインフルエンザ等の季節性の大型案件が寄与したこと、および前事業年度にグループ化した旧総合臨床ホールディングスとの統合効果によりプロジェクト全般にわたり症例登録率が向上したこと等が主たる要因となり、当初計画を大幅に上回って推移しております。

利益面につきましては、各事業における案件の順調な推移による効果、および SMO 事業の上記増収による営業利益の増加、並びに CRO 事業において、治験・PMS 業務のマネジメント強化と原価管理の徹底、および臨床研究業務における受託プロジェクトの好進捗による増益効果等に伴う収益増が要因となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回の業績予想数値を上回りました。

3. 通期の業績予想

売上高は、上期においてはプロジェクト等の案件が順調に進捗しましたが、通年においては当初予定した通りの業績を想定しております。

利益面につきましては、当初期間赤字を見込んでいた Global Research 事業において、専門力強化のための人材投資、および営業基盤拡大のための費用負担増もあり、赤字を見込んでおります。

よってグループ全体としては、通期の業績予想について当初予定した通りとし、売上高、利益面ともに、現段階では変更しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によってこれら予想数値と異なる可能性があります。

以上